

石岡市複合文化施設（市民ホール）整備基本計画（案）に関する 意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

新しい市民ホールの基本コンセプトや施設の機能、事業スケジュールなどを取りまとめた「石岡市複合文化施設（市民ホール）整備基本計画（案）」に関して、広く市民の皆さまからご意見を伺うため、意見公募（パブリックコメント）を実施しました。

ご提出いただいたご意見に対する市の考えをまとめましたので、公表いたします。
なお、氏名や住所等の記載がないご意見につきましては、公表及び回答を差し控えさせていただきます。

意見公募（パブリックコメント）実施概要

実施期間	令和7年4月28日（月）～5月18日（日）
資料の 公表場所	本庁2階駅周辺にぎわい創生課、八郷総合支所1階支所総務課、 中央公民館及び各地区（国府、府中、東、城南）公民館、中央図書館、 まちかど情報センター、石岡商工会議所、石岡市八郷商工会、市HP
意見等を 提出できる方	①市内に住所を有する方 ②市内で文化芸術活動を行っている団体、または所属する個人 ③市内在勤・在学の方
提出方法	駅周辺にぎわい創生課宛て直接持参または郵送、FAX、電子メール

意見等の内訳

- ・提出者数 7 名
- ・意見総数 79 件

項 目	件数
「はじめに」～「第1章 整備方針」に関する意見等	25
「第2章 施設計画と機能構成」に関する意見等	10
「第3章 建設予定地」に関する意見等	16
「第4章 建物構造及び建物設備計画」に関する意見等	3
「第5章 管理運営計画」に関する意見等	4
「第6章 事業手法」に関する意見等	0
「第7章 概算事業費及び財源」に関する意見等	5
「第8章 事業スケジュール」に関する意見等	3
その他の意見等	13

石岡市複合文化施設（市民ホール）整備基本計画（案）への意見等に対する市の考え方

「はじめに」～「第1章 整備方針」に関する意見等

	意見等	市の考え方
1	P3②について、あらゆる人の交流ができるとは思わない。 高齢者の移動が難しい石岡市はそのフォローができていない。特に乗合いタクシーにおいて、市内と旧やさとの間に差がある。差別である。したがって、基本方針は成されないものとする。	市民ホールを整備する上では、本計画（案）のP35でお示しているとおり、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した計画とし、難聴者支援設備や多機能トイレ等の設備を適切に計画します。 また、公共交通による施設へのアクセスにつきましては、市民ホールとの整備に合わせて、可能な限り検討を進めてまいります。
2	将来どのように利用されるかを考えるのは非常に難しいと思われませんが、多目的、共有化の考え方もありますが、将来に向けて今現在考えられる最良の利用の仕方も考えてもよいのではないのでしょうか？将来を見据えて2025年に考えられた石岡市の最良の「文化」「ひと」「地域」の交流拠点を創っていければと願っています。	市民ホールを整備に当たっては、各機能の独立した使用・効果だけでなく、それぞれの機能が相乗効果を生み出し、多様な活動・交流の創出が期待されることを施設計画として、文化芸術を通じた多様な活動・交流の創出を進めてまいります。 本市の「文化」「ひと」「地域」の交流拠点として、市民の皆様からいただいたご意見を踏まえ、ハード・ソフトの両面から、より魅力的で利便性の高いホールの整備に向けて取り組んでまいります。
3	市民の「多様なニーズ」、「時代のニーズ」等とあるが、具体的にはどのようなことか、概要版ではよくわからない。	文化芸術への関わり方は、時代の変化や地域の実情、ライフスタイルの多様化に伴い、今後も変化していくことが想定されます。こうした文化活動の拠点として求められる機能はもちろん、地域の交流機能や防災機能などの様々な機能を有する施設とすることで、利用する方の多様なニーズに可能な限り対応できる汎用性の高い施設整備を目指してまいります。
4	全体的に見てよくまとまっている様に見えます。しかし、この類の計画案にもよく使われる語句（単に心地良い言葉や常とう語句）が随所に現われ石岡（含、八郷）らしさが見えてきません。 例 基本方針 あらゆる「ひと」に開かれた・交流の拠点づくり、管理運営の方針、新たな活力を創出する自主事業…どの施設でも大なり小なりの謳い文句ではないでしょうか。計画案は模範解答の様です。果して石岡の行政、市民にこれをこなすだけの力が備わっているのか大いに疑問です。	本計画（案）では、市民ホールを整備に向けた基本的な方針を示しており、今後は設計業務でより詳細な内容の検討を進めてまいります。 今後、事業を進めるに当たっては、ご指摘のとおり石岡らしさを含め、より一層のご理解をいただけるよう取り組んでまいります。
5	石岡市民会館は令和2年3月閉館となり、多くの市民の方々からホール再建の要望があったとは思いますが、すでに5年が経過し、市民会館で行われていた成人式も市民体育館で滞りなく行われているなど、再建要望の空気感も薄れ、喫緊に再建しなければならない状況ではないと思います。限られた財源で、今、石岡市が取り組むべき課題は山積みであり、優先順位を誤れば、将来及び子供・孫に重大な禍根を残す結果になると思います。 例えば、災害避難所に指定されている恋瀬地区公民館の屋根はアスベストを原材料とするコロナルであり、明日にでも発生する可能性がある首都直下型地震、東海地震等が発生した場合、アスベストが散乱する場所で避難しなければならない可能性が十分に予想されますので、市民の安全安心を確保するために、早急に対策を講ずるべきと考えます。また、停電した場合に備え、各避難所には手押しポンプ式井戸を整備すべきです。老朽化甚だしい八郷地区の上水道設備は次回の大震災に耐えられないのは誰の目から見ても明らかだと思います。 歴史の町石岡と言いながら、博物館法の博物館に該当しないかび臭いふるさと歴史館、歴史の町石岡と言いながら恥ずかしいとは思いませんか。貴重な漆塗り文書は現在どこにどのように保存されているのですか。石岡市役所には学芸員はいますが、博物館法における学芸員ではないことをどう思いますか。瓦塚窯跡が国指定史跡、市有地になったにもかかわらず、何ら整備されず、かつ駐車場もなくインバウンドも期待できません。 駅前のにぎわい創生を目指していますが、駅前東ノ辻線をはじめ幹線道路の整備遅延（シルクロード・熊野道のごとく古来より道路は物流人流の礎）、少子高齢化対策(例えば、皆さんの周りでは、孫の世話に行っている先は石岡市以外の他地方自治体に居を構えた子供宅がほとんどだと思います。石岡市が他地方自治体以上の魅力を感じ得ないから転出するのであり、それは子育て世代への物心両面のバックアップがないことが多大に影響していると思います。また、乗合タクシーの料金体系は公共性公平性公益性から不公平だと思います）。どうかかなったはずの小見地区の残土問題等々、上げれば限がない状況ではないでしょうか。 「小事をなさざる者大事をなさず」と申します。どうか、新市民ホールを再建するという大事をなさず、市民の誰もが輝き、歴史の町石岡市に住んで良かったと思われる小事をなしていただきたいと思います。	令和2年3月に旧市民会館が閉館となり、現在は文化芸術や市民活動等の拠点が失われている状況です。限られた財源の中で、本市が取り組むべき課題は多くありますが、市民ホールを整備は、まちづくりにとって優先すべき事業であると考えております。 市民ホールを整備するに当たっては、市内類似施設の活用についての検討も行いましたが、キャパシティの問題や施設の老朽化などもあり、新たに市民ホールを整備する方針といたしました。 ご指摘のとおり、大きな事業費を伴うことから、財政状況を十分に勘案し、引き続き有利な財源の確保に努めてまいります。 今後も皆様への十分な情報周知に努め、本事業へより一層のご理解をいただけるよう取り組んでまいります。
6	ホール(複合文化施設)があったらいいな、とは思いますがランニングコストを含めて考えると新たに建設する必要はない、いい機会なので白紙に戻されるといいと思います。建設時の費用はもとより、年間維持費もかかるとは思いますがそれは我々の税金で賄われます。10～20年もすれば電気系統はじめ大規模な修繕もでるでしょう。 隣接市にホールがあり、当面そこを借りられればいいのでは？と思います。 当然予約困難など問題はありますが、巨額の費用を投じてたまに使うホールを作るほど必要ではない、と。 仮に隣接市のホールが解体された場合には改めて公共ホール建設の是非を検討すればいいと思います。 むしろ74億もあるなら町中に防犯カメラ付けて安全なまち作りを進めるとか、103万円の壁問題で生じる財政問題にあてて欲しいです 銚田市でも土浦市でも家の窓を割ってどろぼうが入ったとニュースで見ました 行政には安全や生活基盤に関係するところにお金を使って欲しいです。	
7	ホールは既存のものを、他の所にお金を使うべき。	

8	もちろん、潤沢な予算があり、これから景気がどんどんよくなり人口が増えるというのであれば新築でキレイな市民ホールが良いに決まっています。 ・文化、芸術を発展させたいという思いは新築の大きな市民ホールがないとできないでしょうか？ ・消滅可能性都市1歩手前の石岡市として、予算をかけていくのが、市民ホールでしょうか？ ・子育て、教育にお金をかけて転入者及び市民を増やした方がいいのではないのでしょうか？ ・これから、どんどん人口が減っていく日本で1つの市に必ずしも1つ市民ホールが必要でしょうか？ ・ゴミ処理場のように、3市や4市が集まり市民ホールを運営していくような柔軟なやり方ややっていく事はできないのでしょうか？	(改ページにより再掲) 令和2年3月に旧市民会館が閉館となり、現在は文化芸術や市民活動等の拠点が失われている状況です。限られた財源の中で、本市が取組むべき課題は多くありますが、市民ホールの整備は、まちづくりにとって優先すべき事業であると考えております。 市民ホールを整備するに当たっては、市内類似施設の活用についての検討も行いましたが、キャパシティの問題や施設の老朽化などもあり、新たに市民ホールを整備する方針といたしました。 ご指摘のとおり、大きな事業費を伴うことから、財政状況を十分に勘案し、引き続き有利な財源の確保に努めてまいります。 今後も皆様への十分な情報周知に努め、本事業へより一層のご理解をいただけるよう取組んでまいります。
9	子供たちにコンサートなど、いろいろな体験をさせてあげたいので、市内に文化施設はあってほしい。 予算が大幅に削減できるなら、リフォームでもいいのでは。	
10	他の現在ある所を利用すればいいと思う。	
11	八郷にはあるのでわざわざ作らなくていいのではないかと正直な所思います。	
12	無くても困らない人の方が多いのでは？違うところにお金を使うべき。	
13	ひと昔前までは「箱モノ行政」と言われ、首長達は競ってこの様なホールを造りました。まだ今のように国全体が少子高齢化になく地方はまだまだ活気があった時代です。計画案はまだその時代の夢を追っているようです。今や石岡市の年間出生者数は2-300人程度でしょう。人口もどんどん減ってゆきます。開館時の人口は5万人を割っているかもしれません。800人の大ホールは全く不要です。八郷の中央公民館をもっと活用すべきです。	
14	具体的にどういった目的で作りたいのかが分からないので、簡単に賛成できないと思った	前述の通り、市内に文化芸術や市民活動等の拠点が失われている状況であり、新たな文化芸術の拠点を整備することで、市民の創造的な活動を支え、地域全体の文化振興と活性化を図ることを目的に、市民ホールの整備を進めています。 本事業は、長年市民に親しまれてきた旧市民会館の役割を引き継ぎつつ、市民や関係団体の皆様のご意見を丁寧に反映しながら進めてまいりました。文化芸術に触れる機会を広げ、市民の参加を促すとともに、利用する方の多様なニーズに対応することで、あらゆる世代の交流や地域の賑わいを生み出す拠点を目指しています。
15	このように若い子育て世代を中心とした集客できる施設が必要だと思えます。 正直石岡駅のスケボーの脇に公園ができましたが、車をお金払って止めなければならない公園に誰も行きませんし、小さいし、ある遊具も魅力的ではないため、いく気になりません。むしろほとんど使われてませんよね。 誰もが使用できる施設は大事だと思いますが、結局人が定住し、長く住むことを優先すべきと考えるので、若い子育て世代をターゲットにした、子どもが安心して遊んだり、学ぶことができる、商業も含んだ複合施設を考えるべきだと思います。	市民ホールの整備に当たっては、文化芸術に触れる機会を広げ、市民の参加を促すとともに、あらゆる世代の交流や地域の賑わいを生み出す拠点を目指しています。具体的には、旧市民会館が担ってきたホール機能に加え、あらゆる世代が気軽に集い過ごせるよう、キッズスペース、民間テナント(カフェ)、学習スペースなど、多目的に活用できる諸室構成を計画しております。頂いたご意見は今後の設計業務の参考とさせていただきます。
16	まず、複合施設については賛成です。 しかし、今回おっしゃっている複合施設が、ホールがあるというところ以外はどうの様な種類のものかわからないため正直微妙です。	ホールのほかに、市民ギャラリー、アトリエ・工作室、音楽スタジオ、和室、デジタルスペース、キッズスペース、カフェなどの民間テナントスペース、会議室、学習スペース、調理室といった多目的に活用できる諸室の整備を計画しております。 これらの施設は、市民の皆様の多様な活動や交流を支える複合施設として整備を進めてまいります。
17	子供たちの輝く未来のためにも、市内に複合文化施設は必要だと思います。 幼いうちから発表会や観劇などを含め多くの経験を積むことで、価値観や視野が広がり、知識だけでなく感受性なども育むことができると考えるからです。 子供たちだけでなく親世代、祖父母世代も地元の文化施設を利用する機会が増えることで地域に根付き、より心豊かな住環境がつけれるとも思います。	地域の文化芸術拠点やあらゆる世代が交流するコミュニティ拠点として、本事業を推進してまいります。 今後も市民の皆様のご意見を大切にしながら、魅力ある施設づくりに努めてまいります。
18	親世代にはあった物が今の子供達に無いのはおかしい。建設すべき	
19	人が集まれる場所が必要だと思います。老若男女、外国人も自然と集まり顔を合わせられる場所があるといいです。	
20	八郷地区も石岡地区もそれぞれホール機能は必要。	
21	県南には駅に近い良いホールが少なく感じます。石岡はアクセスが良いのであったらいいですね。	
22	市民会館や、ホールがあれば歌手の方のコンサートや、イベントなど老若男女楽しめる機会は増えると思いますし、お金も動くと思います。	
23	昨今幼稚園等のイベントや習い事の発表場所を市外の場所借りて行っている(借りる際にその施設がある住民優先なので、予約がとりづらいと人伝に聞いた)為、石岡市に必要な施設だと思う。	
24	イベントができる屋内の複合施設は市内に必要なだと思います。	市民ホールでは、文化芸術の鑑賞・発表、各種講演会などの様々な用途での利用を想定しています。 市民の皆様が利用しやすく、賑わいや交流が生まれるよう、各機能が相乗効果を生み出すような計画とし、文化芸術を通じた多様な活動と交流の創出を図ってまいります。 地域の文化芸術拠点やあらゆる世代が交流するコミュニティ拠点として、本事業を推進してまいります。
25	ホールの必要性を感じていますが、果たして電車を利用して来場するような内容が日常的に行われるのか気になります。	ご指摘のとおり、稼働率を上げることは課題であると認識しています。 そのため、「管理・運営計画」の策定に当たっては、新施設において市民を巻き込んだ自主事業が積極的に行われるような内容とするなど、工夫を凝らした計画とし、稼働率の向上を図ってまいります。さらに、市民の皆様からのご要望やご意見を丁寧に伺い、それらを踏まえたうえで、ハード・ソフト両面からより魅力的で使いやすく、多くの方にご利用いただけるホールの実現を目指してまいります。

「第2章 施設計画と機能構成」に関する意見等

No.	意見等	市の考え方
1	メインホールを800席にした根拠は、どこにあるのでしょうか？旧市民会館を参考にしたようですが、どれくらいの集客があったのでしょうか？ 稼働率はどのくらいだったのでしょうか？かなり少なかったように思われますが。	市民ホールは、文化芸術の鑑賞・発表、各種講演会などの様々な用途での利用を想定しています。旧市民会館が果たしてきた役割や、今後見込まれる多様な利用ニーズなどを踏まえ、座席数を含めた施設規模や諸室構成などを計画しています。 また、「管理・運営計画」の策定に当たっては、新施設において市民を巻き込んだ自主事業が積極的に行われるような内容とするなど、工夫を凝らした計画とし、稼働率の向上を図ってまいります。さらに、市民の皆様からのご要望やご意見を丁寧に向い、それらを踏まえたうえで、ハード・ソフト両面からより魅力的で使いやすく、多くの方にご利用いただけるホールの実現を目指してまいります。
2	「多様な用途に対応」できるように可動式で進めているようですが、どのような用途を考えているのでしょうか？「機能の共有化により利便性を高める空間計画」によるとメインホール、サブホール、ホワイエを一体化とありますが、どのような、どのぐらいの利用が考えられますか？ 釜石市民ホールの例をあげていますが、その地にあったコンセプト、都市空間広場を作り出すために計画されていると思います。石岡市などのような機能が必要なのかを検討していただきたいと思います。 ・ホールや楽屋、会議室、音楽スタジオの柔軟な利用形態は遮音等を十分検討ください。コスト高になる可能性もあります。 ・筑波山の景観を活かした配置計画はどうでしょうか	前述の通り、市民ホールでは、文化芸術の鑑賞・発表、各種講演会などの様々な用途での利用を想定しています。 メインホール、サブホール、ホワイエの一体利用につきましては、事業規模や内容に応じた多目的な使い方が可能となり、稼働率の向上や利用者の利便性の向上を図ることにつながります。 今後、設計業務を進める中で、柔軟な利用形態に対応しやすい諸室の配置や、用途に応じた最適な遮音性能の確保について検討を重ねてまいります。合わせて、周辺のまちなみや景観との調和にも十分配慮するよう努めてまいります。
3	①メインホール800席の規模 前市民会館ホールより小さくなったが、前ホールの使用実績はどのくらいだったのか、また八郷公民館の使用実績はどうか、個人的にはひまわり館ホールを使うことがあるが500席程度で十分ではないか。多用途使用についてはいいと思うが、その場合音響や照明等は大丈夫か。 ②サブホール 200席平土間形式はいいと思うが、市民ギャラリーとの兼用を考えられないかホワイエ部分も市民ギャラリーに使えるようにすればあえて市民ギャラリーを造らなくてもよいのではないか。 ③調理室は各公民館にあるのでここに設ける必要はないのでは。	①市民ホールでは、文化芸術の鑑賞・発表、各種講演会などの様々な用途での利用を想定しています。旧市民会館が果たしてきた役割や、今後見込まれる多様な利用ニーズを踏まえ、座席数を含めた施設の規模や機能から計画しています。 また、「管理・運営計画」の策定に当たっては、新施設において市民を巻き込んだ自主事業が積極的に行われるような内容とするなど、工夫を凝らした計画とし、稼働率の向上を図ってまいります。さらに、市民の皆様からのご要望やご意見を丁寧に向い、それらを踏まえたうえで、ハード・ソフト両面からより魅力的で使いやすく、多くの方にご利用いただけるホールの実現を目指してまいります。 音響や照明等の設備につきましては、音楽、舞台、舞踊、各種講演会等の多様な用途に対応できるよう計画します。 ②貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。頂いたご意見は今後の設計業務の参考とさせていただきます。 ③周辺の公共施設も老朽化が進んでおり、本計画（案）では新たな調理設備を備えた空間の整備を計画してまいります。
4	④デジタルスペース、場所の提供だけなのか、必要機材を備えるのかよくわからない。目先の流行を追っても、すぐに古くなってしまうのでの一要考を要する ⑤民間テナントについて、市役所庁舎に民間テナントを入れたがすぐに撤退したと思う、その反省は。無理に入れなくてもいいのではないか。飲み物のコーナー程度は必要。 ⑥会議室の分割利用はいいと思うがその規模は、100、50、30席ぐらいの大中小の規模が必要と思う	④若い世代を中心に、高校生から施設の機能や使い方についてご意見をいただきました。頂いたご意見を踏まえ、デジタルスペースの設置を計画しております。 機能の配置や機材の導入などの詳細については、将来にわたり有効活用できる施設となるよう、今後の設計業務で検討を進めてまいります。 ⑤市民ホールの基本方針の一つである「あらゆる『ひと』に開かれた空間と交流の拠点づくり」に基づき、市民が気軽に訪れ、自由に過ごせる憩いの場としての飲食スペースを計画します。 今後の設計段階で、利用者の利便性等の向上を図り、快適な環境づくりに努めてまいります。 ⑥貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。頂いたご意見は今後の設計業務の参考とさせていただきます。
5	子供が室内で遊べるスペースがほしい。石岡には夏や雨の日には子供を連れて行くところがない。 カフェやコンビニなどの軽食が取れるスペースがあれば駅利用者にも使いやすいと思う。	市民ホールの整備に当たっては、文化芸術に触れる機会を広げ、市民の参加を促すとともに、あらゆる世代の交流や地域の賑わいを生み出す拠点を目指しています。具体的には、旧市民会館が担ってきたホール機能に加え、あらゆる世代が気軽に集い過ごせるよう、キッズスペース、民間テナント（カフェ）なども計画しております。頂いたご意見は今後の設計業務の参考とさせていただきます。
6	ホールに見合った駐車場や道路のスペースを確保することや児童館が耐久性のことで閉館してしまったことなどを考慮すると、子どもの雨の日でも遊べる場も兼ねた施設を造ってもらえたらいいと思います。	
7	子供が遊べる広場、室内施設を作って欲しい。	
8	市民ホールも良い案だと思いますが、希望としては市民ホール＋メインを乳幼児から中学性が利用できる「こども未来館」ができればいいと思います。 そうすれば、雨の日でも暑い日でも室内で皆が思いっきり遊べる場所でき、高齢者のボランティアを集めて子どもたちに昔の遊びやダンボールや廃品を利用した制作を教えたりする場も設ければ、子どもたちが大人と触れ合う機会が増えますし、高齢者の方にとっても市内の子どもたちと触れ合える場ができ、ボケ対策にはいいと思います。	

9	2①メインホール ア客席(p7) ・客席数は概ね800席としています。その根拠が不明です。失礼な言い方ですが、「旧市民会館と同規模がめったらいいなあ」との考えとすれば、笑止千万の計画です。仮に同規模のホールが必要なら、隣接市との協同使用の協定を結ぶべきと考えます。現在の公民館、図書館等の協定の中にホール使用を盛り込み、経費等について協議検討すれば、結果的に財政的にもウィンウィンの関係になる と思います。民間では生き残るためにライバル企業同士がタッグを組むのは常識になっています。石岡市も財政的には同様だと思います。また、今や、一市に一ホールの考えは、時代錯誤も葛だしいと思います。 仮に、ホールを再建した際に、柿落としにNHKのど自慢を呼ぶ考えから、その基準となる900名程度に合わせたとすれば、本末転倒の数字だと思います。NHK水戸支局に確認したところ、「900名程度で舞台がのど自慢のセットが置けるスペースがあればいい」とのことでした。 令和7年5月4日のNHKのど自慢は、合併20周年記念事業として青森市八幡平市が合併前の既存の体育館で行われました。ちなみに、新ホール等を建設する予定はないそうです。石岡市をアピールする手段としてNHKのど自慢を誘致するなら、新ホールの柿落しではなく、市長、石岡市議会、関係団体及び市民各位の熱意があれば、令和7年3月29日までは既に年度計画が決まっていますので、令和8年4月以降なら誘致可能と思います。 ・石岡市のホール機能を有する施設として、中央公民館及びひまわり館がありますが、古くなり音響設備も悪いから新ホール建設との方針ですが、リフォームすれば十分に活用できると 생각합니다。新ホール建設ありきで進んでいるため、建屋そのものについては担当職員のご苦労には敬服しますが、リフォーム検討は全く公表されていません。複合文化施設建設審議会でも建設ありきでリフォームについては全く検討されていません。このような状況では、「800席のホール」建設の是非についての正しい判断材料が少なすぎます。ベースとなる席数が曖昧な計画は砂上の楼閣と言わざるを得ません。 例えば、中央公民館である団体の発表会に行ったところ、マイクの設定は主催者が慣れない手つきでやっていました。客席から見る限り、職員の方々の手助けは全くありませんでした。一方、都内の某区管理のホールでは、中央制御室に一人、ホールに一人が担当しており、主催者に寄り添う姿勢が感じられました。早急に音響等の改善及び音響担当の職員配置を検討すべきです。	前述の通り、市民ホールは、文化芸術の鑑賞・発表、各種講演会などの様々な用途での利用を想定しています。旧市民会館が果たしてきた役割や、今後見込まれる多様な利用ニーズなどを踏まえ、座席数を含めた施設規模や諸室構成などを計画しています。 ご指摘のとおり、大きな事業費を伴うことから、今後も本市の財政状況を十分に勘案しながら、引き続き有利な財源の確保に努めてまいります。 今後も皆様への十分な情報周知に努め、本事業へより一層のご理解をいただけるよう取組んでまいります。
10	3 (4)ホール以外の機能(p10～ p14) ・保健センターの整備計画があるにもかかわらず、八郷保健センターの活用方法や小中学校の統廃合による跡地利用については、何ら検討されていないのが実態です。限られた財源の中で、既存公共施設を有効活用すべきと考えます。 例えば、東日本大震災により使用できなくなった市民会館も、耐震工事をすれば使用できたはずで。財政規律を重視した国・県はいたるところの公共施設の耐震化工事を行いました。「無」になってからでは、後の祭りです。	ご指摘のとおり、既存公共施設の利活用は市全体で取組む課題であると認識しています。 市民ホールを整備するに当たっては、市内類似施設の活用についての検討も行いましたが、キャンシティの問題や施設の老朽化などもあり、新たに市民ホールを整備する方針といたしました。

「第3章 建設予定地」に関する意見等

No.	意見等	市の考え方
1	P18-1 イベント広場は住宅地であり、道路がせまい、事故などの想定がやぶまれる。騒音など休みの日に地域住民の安全がなくなる。	周辺道路の整備は大変重要であると認識しております。 市民ホールが建設されることに伴う影響を十分に考慮し、関係部局と連携し整備対策を検討してまいります。
2	今更ではありますが、石岡市立地適正化計画が「コンパクト・プラス・ネットワーク」型のまちづくりを推進するものであるならば、建設予定地は、鹿島鉄道跡地、市営駅東駐車場が適地と思われます。 基本理念、方針の他にまちづくりの原動力となるための石岡市全体のマスタープランが示され、「イベント広場」に選定したとする力強いコメントがあった方がいいのではないのでしょうか。	建設予定地は様々な経緯やご意見等を踏まえ、イベント広場とさせていただきます。 なお、いしおかイベント広場につきましても「石岡市立地適正化計画」で定めた都市機能を集める「都市機能誘導区域」として位置付けられており、まちづくりを進める上で、重要なエリアとなっております。 市民ホールの整備が進むことで、文化芸術を通じた多様な活動・交流の創出により、中心市街地に人の流れや賑わいが生まれ、希薄になりつつある地域のつながりを再び築くことにもつながっていくと考えております。 また、本計画（案）のP4でお示しているとおり、「石岡市総合計画基本構想」では、将来像として「誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市」を掲げ、安全・安心な社会の現実と本市の魅力向上を目指したまちづくりを推進しています。その実現に向けては、「文化芸術の促進」及び「中心市街地の活性化」の重点的な取り組みの一つとして「市民ホールの整備」を位置付けております。
3	イベント広場は別イベントで使ったり臨時の駐車場としても残した方がいいと思う。 駅からのアクセスの良さは石岡に人を呼ぶためにも学生が利用しやすいためにも必須だと思う。	建設予定地は様々な経緯やご意見等を踏まえ、いしおかイベント広場とさせていただきます。 今後は、市民ホールと周辺の公共施設が連携し、相乗効果の創出やサービスの効率化が図れるよう検討を進めてまいります。
4	イベント広場への建設は大反対。 そのような施設は駅近であることが最低条件であると思います。（ベビーカーや、年配者、市外から来られる方も気軽に行ける場所であることが必要）図書館やカフェも併設されているようなものであれば、通勤通学の合間に寄れたりと、需要があるかと思います。 鹿島鉄道跡地が良い場所であると思いますが、地盤が弱く建設が難しいなどの理由で、いしおかイベント広場に建設ということであれば、利用者は一部の層に限られ、需要が減ることから、大きな損失となる恐れがあり、建設には反対です。	
5	こういう施設は駅の近くの方が便利だと思う。	
6	せっかく市内に駅があるのだから、市外向けとしても駅前に建築してもらった方が有用性が上がる。 土浦市のアルカスのように、図書館も併設のほうが、子連れで行きやすい。	
7	現在石岡市にはまともに使えるホールが存在しない。地盤等の問題もあるが石岡駅に誘致できれば街の活性化にも繋がる。（水戸市の水戸市民会館は複合施設として上手く稼働している）	
8	古来から人が住み続けてきた石岡市。 埋蔵文化財が多く出土しやすい土地柄で市外の方も利用しやすい場所となると限定されてしまう為、駅周辺に施設を建築する事はデメリットばかりではないはず。	
9	駅から近ければ電車に乗って施設に来てくれる方も多いでしょう。	
10	石岡市にお住まいの方だけでなく他の地域からも石岡に来て頂くためには、交通の便から鑑みても鹿島鉄道跡地が適しているのではないかと思います。さらには駅前商店街や周辺にも活気が戻ってくるとも期待します。	
11	出来ればアクセスの良い石岡地区へ立つと良い。他の候補地はないのでしょうか？八郷地区だとリフォームしてもアクセスの問題があり、回収は望めない可能性があると思います。	
12	地域の高校生等の学生の文化的拠点としての常時稼働念頭に駅前整備の一択かと。 イベント広場にこだわる理由が不明確。	
13	なにかある度に八郷の中央公民館まで行くのが大変なので、石岡地区のどこかにも作ってほしいです。	
14	近隣の市町村と比較して子育て世代に選ばれるには、早期に駅近で施設を建設するべきであり、延々と建設地で議論しても、ただ機会損失してるだけです。	
15	鹿島鉄道跡地の方が理想ですが、広い駐車場の確保が出来るのか心配ではあります。	
16	場所の検討は市民の意見を聞くことが大事だと思います。	

「第4章 建物構造及び建物設備計画」に関する意見等

No.	意見等	市の考え方
1	防災計画は必要だが電源設備をどこに置くか、災害時の電源確保や給排水等の配慮はどうか。神栖市防災アリーナが台風でガラス破損によって使えなかったという教訓を活かす必要がある。 環境機能については、省エネ、バリアフリー（エレベーター含む）、施設の通風・採光、音響・防音などその場その場での対応を十分考慮する。もちろん各施設の応じた機材（スクリーン・プロジェクター等の視聴覚機材の配置）配置を考える。	災害対策に関しては大変重要であると認識しております。利用者が安全に施設利用できることを踏まえ、P31にお示しているとおり、国土交通省が設定する「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に準じ、構造はⅡ類、建築被構造部材はB類、建築設備は乙類とし、施設にあった耐震安全性を確保する計画とします。防災上の観点からは、近隣に市指定避難所が複数立地していることを踏まえ、災害時には、平土間のホールや諸室などを活用し、一時避難滞在施設として機能する計画としてまいります。
2	P34（1）イ 災害時避難者の受け入れ人数の想定又は日数に対して、特に給水設備などの考えが無い。特に近年は大きな災害が考えられている。国、県、共に近年の災害計画においては、皆対処を考えている。今まで災害において石岡市は苦しんでいない。	合わせて、環境性能についても大変重要であると認識しております。 頂いたご意見を参考に、今後は設計業務でより詳細な内容の検討を進めてまいります。
3	複合施設が災害時の避難所としても使用されるのであれば、地盤(沼地のため)をしっかりと整備したうえで建設を行って欲しい。	今後、本事業を進めるに当たっては、地質調査を実施するなどの対応とし、利用者が安全に利用できる施設整備を推進してまいります。

「第5章 管理運営計画」に関する意見等

No.	意見等	市の考え方
1	「まちづくりの原動力として新たな活力を生み出す」施設には市民参加が必須です。施設の計画を作って運営はどうしましょうかではなく「ここで何をしたら楽しいか」「ここで何をやりたいか」市民から生じる小さなニーズやアイデアから設計は始まると思います。時間がないようですので計画（設計）と運営計画を並走して行わなければならない。豊かな暮らしの場面につながるような施設になって欲しいと思います。	ご指摘のとおり、「管理・運営計画」の策定は大変重要であると認識しております。市民ホールが「まちづくりの原動力」となるためには、市民の皆様への参画が不可欠であり、「何をしたら楽しいか」「何をやりたいか」といった、一人ひとりの思いやアイデアを丁寧に受け止めながら計画を進めていくことが大切だと考えております。 今後は、設計業務と並行して「管理・運営計画」の策定を予定しています。「管理・運営計画」の策定に当たっては、新施設において自主事業に積極的に取り組むことができる計画とし、稼働率の向上を図ってまいります。さらに、市民の皆様からのご要望やご意見を丁寧に伺い、それらを踏まえたうえで、ハード・ソフト両面からより魅力的で使いやすく、多くの方にご利用いただけるホールの実現を目指してまいります。
2	公設公営にすることで民間業者丸投げでなく、自治体職員のスキルアップをはかり、市民との協力協同を深める、したがって計画段階から市民の声を反映する機会を作っていく。経過・運営にもっと市民が関わりを持つようにすべき。	ご指摘のとおり、「管理・運営計画」の策定は大変重要であり、市民の皆様への参画が不可欠であると認識しています。 市民ホールの運営手法につきましては、運営面及び維持管理面において高い専門性を発揮し、効果的かつ効率的な民間活力の活用が期待できることから、「指定管理者制度」の導入を基本とし、「管理・運営計画」の策定を予定しています。 「管理・運営計画」の策定に当たっては、新施設において市民を巻き込んだ自主事業が積極的に行われるような内容とするなど、工夫を凝らした計画とし、稼働率の向上を図ってまいります。さらに、市民の皆様からのご要望やご意見を丁寧に伺い、それらを踏まえたうえで、ハード・ソフト両面からより魅力的で使いやすく、多くの方にご利用いただけるホールの実現を目指してまいります。
3	市民の文化活動は、世代間交流や居住地域への愛着醸成などの効果も見込めるので、活発化すべきとは思いますが、維持費やランニングコストを収益で賄えるだけの事業計画（目的）は、これからの時代どうしても必要に思います。市外からの集客・収益を考えると石岡駅東口の一択だとは思いますが、それだけの事業を展開できるオペレーターの育成（これを市外に発注すると元も子もないので）も同時に検討が必須に思います。	建設予定地は様々な経緯や御意見を踏まえ、いしおかイベント広場とさせていただきます。 頂いたご意見は、今後の「管理・運営計画」の検討を進める上での参考とさせていただきます。
4	祭り以外の文化の情勢もこれからの石岡市の持続的繁栄には欠かせないかと。	貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。 頂いたご意見は、今後の検討を進める上での参考とさせていただきます。

「第7章 概算事業費及び財源」に関する意見等

No.	意見等	市の考え方
1	P50（2） 事業費の想定はあるが、たいはん借金の返済計画の考え方が無い。後の石岡市民の生活にかかわる事である。	ご指摘のとおり、本事業における財源の一部には地方債（市の借入金）の活用を想定しております。地方債の活用に当たっては、償還金に対して、一部国から補填がある制度を活用するなどの検討をし、実質的な市の負担をできる限り抑えるよう努めてまいります。 また、地方債の償還（返済）については、将来の財政運営に過度な負担を及ぼすことのないよう、より具体的な財政計画の検討を進めてまいります。合わせて、皆様への丁寧なご説明を行いながら、健全な財政運営を前提とした事業推進に努めてまいります。
2	物価高騰の中で事業費が遺産を示すことは難しいと思うが、もう少し正確な費用と予算を示す。	概算事業費につきましては、本計画（案）のP50でお示しているとおりです。現在の見込み額を基に、今後さらに精査を進めてまいります。 今後も皆様への十分な情報周知に努め、本事業へより一層のご理解をいただけるよう取組んでまいります。
3	施設整備費62億とんでもないです。私の経験からするとホールの設備費用（舞台関係）など業者の言いなりです。いくら財源を活用してもとどのつまり税金です。旧石岡市民の中には八郷まで行くのは嫌だという人もいと聞きますが、それでは何のために合併したのかわかりません。時代はどんどん衰退してゆくのそれに逆らうような市民ホールの計画にはあくまで反対です。後々の世代の市民の負担になるホールは中止し、既存の施設の活用に知恵を絞るべきです。 ホール以外の機能については概ね了解です。	今回の、本計画（案）につきましては、市民ホールの早期実現を望む声をはじめ、様々なご意見を頂戴しております。 ご指摘のとおり、「将来的な維持管理の負担」や「施設規模の妥当性」は大変重要であると認識しております。 市民ホールは、文化芸術の鑑賞・発表、各種講演会などの様々な用途での利用を想定しています。旧市民会館が果たしてきた役割や、今後見込まれる多様な利用ニーズなどを踏まえ、座席数を含めた施設規模や諸室構成などを計画しています。
4	現在の石岡市の財政状況は、令和7年度一般会計予算348億円、財政調整基金36億円であり、このまま推移すれば、令和15年には、財政調整基金がマイナスに転じるとされています。そのため、令和12年度までなら活用できる合併特例債を有利な財源として活用し令和12年度完成する計画ですが、財源確保のために計画しているようなもので、拙速な結論を導き出し、結局、借金を背負うことになり、未来の石岡市を担う子・孫に財政負担をかけるのは明らかです。さらなる財源を確保するなら、発掘調査参加のふさと納税・クラウドファンディングも検討すべきです。 財政調整基金は、令和6年の33億円が36億円に増え、文化施設建設基金が令和6年が10億円であり、さらに一般財源8億円とすれば、新ホールを建設すれば、少なくとも「18億円プラス 36億分の〇億円」分が市民生活に必要な各種施策ができなくなり、つまるところ、「歳出の抑制」とは、市民生活をないがしろにすることに他ならないと断言します。 例えば、巨額の事業費を必要とする新ホールを建設するため、毎年、3月議会で各種施策の予算を成立させ、予算執行せず(できず)、補正予算に繰り込み、それを次年度には財政調整基金及び文化施設建設基金に補填し増額しているとしたか考えられません。 国分町の交差点にスポットパークを建設するために、令和6年度1,650万円の予算が成立したにもかかわらず、未だに工事着工していません。 「上林・上曽線」改築工事でも、茨城県が合併市町村幹線道路緊急整備支援事業と指定したにもかかわらず、冠水が発生する交差点に通じる暫定路線の整備を進めています。本線整備の半額で整備できる暫定路線整備は、まさに新ホール建設財源抛出のための愚策としか考えられません。 ・概算事業費77.8億円には、完成後のいわゆるランニングコストが記載されていません。先の石岡市議会における一般質問では、「現在の見積もりで1億円」との答弁がありました。ホールを再建しなければ、市民生活に必要な不可欠な施策を継続的に充実させることができるはずでは。	市民ホールの整備は大きな事業費を伴う事業であり、今後の運営費（ランニングコスト）も含め、本市の財政状況を十分に考慮しながら進める必要があると認識しています。 概算事業費につきましては、現在の見込み額を基に、今後さらに精査を進めてまいります。合わせて、頂いたご意見を今後の検討の参考とさせていただくとともに、引き続き有利な財源の確保にも努めてまいります。 今後も皆様への十分な情報周知に努め、本事業へより一層のご理解をいただけるよう取組んでまいります。
5	この物価高で厳しいご時世に、このような大きな予算をかけて箱物を作る。というのが本当に必要なかなと、まず疑問です。 市民の生活を見てください。子育て世帯としては、『今』の生活、教育費、今後への子どもへの貯蓄を優先させています。	

「第8章 事業スケジュール」に関する意見等

No.	意見等	市の考え方
1	資材、人件費の高騰により、早急に計画実施していただき度。	本計画（案）のP52でお示しているとおり、事業を着実に推進するとともに、市民の皆様や議会へのご報告・ご説明を丁寧に行いながら、令和12年度中の供用開始を目指して取組んでまいります。
2	R6年度基本計画とあるが、これが既に遅れている、市の説明会と意見提出も形式的、基本計画にもっと市民の声を反映すべきなので7年度前半まで基本計画を延ばすべき。	本計画（案）の策定に当たっては、市民の皆様のご意見を丁寧に聴取することが重要であると考えております。頂いたご意見は、今後の検討を進める上での参考とさせていただきます。 今後も皆様への十分な情報周知に努め、本事業へより一層のご理解をいただけるよう取組んでまいります。
3	石岡市に市民会館がないと魅力度がなくなるので早期の着工をお願いしたい。	地域の文化芸術拠点やあらゆる世代が交流するコミュニティ拠点として、本事業を推進してまいります。 今後も皆様への十分な情報周知に努め、本事業へより一層のご理解をいただけるよう取組んでまいります。

その他の意見等

No.	意見等	市の考え方
1	現状の問題点の要因分析が出来ていない事（頓挫した理由）、議会対策	市民の皆様にとって使いやすい市民ホールとなるよう、今後も多様なご意見やニーズを踏まえながら、検討を進めてまいります。 事業を進めるに当たり、今後はこれまで以上に皆様への十分な情報周知に努め、本事業へより一層のご理解をいただけるよう取組んでまいります。
2	今後の推進対策が明確でない。	本計画（案）では、市民ホールの整備に向けた基本的な方向性を示しており、今後は設計業務でより詳細な内容の検討を進めてまいります。 また、本計画（案）のP52でお示しているとおり、事業を着実に推進するとともに、皆様へのご報告・ご説明を丁寧に行いながら、令和12年度中の供用開始を目指して取組んでまいります。
3	要望事項 （１）建設委員会の設置（議員３名、執行部３名、事務局） （２）現場説明会の実施（メーカー３社以上）設計コンペの実施※コンサルを使わないこと （３）竣工検査、国の会計検査官の検査を受ける事 （４）議員対策の推進	貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。頂いたご意見は、今後の検討を進める上での参考とさせていただきます。
4	前に審議委員の公募があったが選定が極めて恣意的で恣意的で偏っていると感じた。そうした考えでなく広く計画委員を募り、計画委員に各地を視察させ、進んだ経験に学び、石岡はこうして決めた胸を張れるホールづくりを進めてみてはどうか。担当者の皆さん大変でしょうが頑張ってください。	
5	5月11日の新ホール建設説明会において、図らずも様々なご意見が噴出しました。また、閉館5年が経過し、検討すればするほど、再建設に向けた空気が明らかに変化するなど、各種状況も変化しています。 さらに、今後の財政規律を考えれば複合文化施設(市民ホール)は、再建設するのではなく、ゼロベースで、「歴史の町石岡の文化施設とは何か」との基本理念に堅持し、再検討すべきと確信します。 その際は、本計画の担当部署は、市長直轄組織の駅周辺にぎわい創生課ではありますが、財政担当部署との連携を図りながら、石岡市議会及び関係団体等との納得のいく討議・検討をされ、後世への遺恨を残すことなく、「後世への最大の遺物」とならんことを切望します。	本計画（案）につきましては、市民ホールの早期実現を望む声をはじめ、様々なご意見を頂戴しております。 本市としましては、市民ホールの整備を通じて、文化芸術による多様な活動や交流を生み出し、中心市街地に人の流れと賑わいを創出するとともに、希薄になりつつある地域のつながりを再び築くことにもつながると考えております。 今後も、「文化」「人」「地域」の交流拠点として、市民の皆様からのご要望を伺い、頂いたご意見を参考にしながら、ハード・ソフトの両面から、より魅力的で利便性の高いホールの整備に向けて取組んでまいります。 今後も皆様への十分な情報周知に努め、本事業へより一層のご理解をいただけるよう取組んでまいります。
6	市民ホール整備基本計画案そのものに疑念。 はじめに私は現在80歳、2000年7月から当地に居住して丸25年になります。もし、市民ホールが予定どおり進捗するとしても、その完成を見るかどうかはわかりません。しかし、今までの経験等を踏えて考えるとどうしても今回の市民ホール整備基本計画（案）（以下「計画案」という）について疑念を抱き反対せざるを得ません。なお、私は今から40年ほど前、東京の武蔵野市（人口約14万人、面積約10km ² 、典型的な住宅都市で財政力は全国でもトップクラスの裕福な市で現在もあまり変わらないと思うが）において武蔵野市民文化会館（大ホール役1250席、小ホール500席の音楽専用ホールでパイオルガン設置）の準備、会場、まで担当者の一人として携わったことがあります。この面から当時と現在を対比してみたいと思います。	
7	個人的にずっと思っているのは、石岡市を残すためにはまず人口を増やさなければならぬということです。人口が増えれば税収を含めすべてプラスに働きます。年々人口が減っていく中、石岡市には継続的に集客できる施設が何もありません。継続的な集客ができないということは定住にもつながりません。土日子供と出かけるのは他の市町村の公園です。鉾田の鹿島灘海浜公園、笠間の中央公園や芸術の森公園、茨城町の涸沼自然公園などです。これらの公園は遊具が大きく種類もいっぱいいていつでも人がいっぱいです。日立のハイタッチランドは入れない時もあります。	地域の文化芸術拠点やあらゆる世代が交流するコミュニティ拠点として、本施設を整備することで、新たな賑わいが創出できるよう事業を推進してまいります。 今後も皆様への十分な情報周知に努め、本事業へより一層のご理解をいただけるよう取組んでまいります。
8	何故、ここまで時間がかかっているのか？不思議というか、決断のとれない集団が情けないと思います。他の市町村に比べて、考え方も遅れていると思います。役に立たない議員はいらないと思います。市役所は建て替えた。市民会館は建てない。だったら、市役所を複合施設にするのはどうでしょうか。議会はイベント広場で青空の下でやればいいんじゃないですか？	本計画（案）のP52でお示しているとおり、事業を着実に推進するとともに、皆様へのご報告・ご説明を丁寧に行いながら、令和12年度中の供用開始を目指して取組んでまいります。
9	行政や議会に対して印象も良くないし、若い人が移住しない状態が続くだけです。	地域の文化芸術拠点やあらゆる世代が交流するコミュニティ拠点として、本施設を整備することで、新たな賑わいが創出できるよう事業を推進してまいります。今後も市民の皆様のご意見を大切にしながら、少しでも若い方の移住、定住の一助となるような魅力ある施設づくりに努めてまいります。
10	もちろん採算がとれる施設にする為にネーミングライツ採用や施設電力供給補助の為に太陽光発電などの課題は多いが、未来を見越して良く考えて頂きたいと思う。 箱物＝税金の無駄というのは我々や行政のやり方次第と思う。	ご指摘のとおり施設の管理・運営は非常に重要と考えており、今後の設計業務において電力供給を含めた環境性能や「管理・運営計画」においてネーミングライツ等の運用について、詳細を検討してまいります。将来の財政運営に過度な負担を及ぼすことのないよう、より具体的な財政計画の検討を進めてまいります。
11	市議会議員の人たちも自分の利益ばかり考えるのではなく、もっと一丸となって、本気で石岡の発展のために話し合いを進めていってほしい。 笠間や小美玉、かすみがうらなど、どんどん魅力的な街になっていってるのに、石岡だけ取り残されてしまっているのが、とても悲しい。	地域の文化芸術拠点やあらゆる世代が交流するコミュニティ拠点として、本施設を整備することで、新たな賑わいが創出できるよう事業を推進してまいります。今後も市民の皆様のご意見を大切にしながら、魅力ある施設づくりに努めてまいります。
12	市民全員が利用するとは限らないので、利用しない方たちへの説明責任や、利用しやすくするような取り組みが求められると思う。	ご指摘いただいたように市民の皆様や議会へのご報告・ご説明を丁寧に行いながら、皆様にとって使いやすい市民ホールとなるよう、今後も多様なご意見やニーズを踏まえた検討を進めてまいります。
13	対面で交流する機会が減少し、子供達のみならず親も大人もコミュニケーション不足で心も体も不安定になる事が心配でなりません。人と人との交流で石岡市を元気にしていきたいでしょう!!	新たな文化芸術の拠点を整備することで、市民の創造的な活動を支え、地域全体の文化振興と活性化を図ることを目的に、市民ホールの整備を進めています。本事業は、長年市民に親しまれてきた旧市民会館の役割を引き継ぎつつ、市民や関係団体の皆様のご意見を丁寧に反映しながら進めてまいりました。ご提言いただいたように、文化芸術に触れる機会を広げ、市民の参加を促すとともに、あらゆる世代の交流や地域の賑わいを生み出す拠点を目指してまいります。